



【文理融合プログラム】  
アーバンデザイン・サティフィケート  
(2021年度用)

受講の手引き

## 目次

1. 「アーバンデザイン・サティフィケート」とは・・・・・・・・・・・・・・・・ P 1
2. 対象および取得要件について・・・・・・・・・・・・・・・・ P 2
3. アーバンデザインオンライン解説動画について・・・・・・・・ P 2
4. プログラム紹介・・・・・・・・・・・・・・・・ P 3
5. サティフィケート申請について・・・・・・・・・・・・・・・・ P 5
6. 問い合わせ・・・・・・・・・・・・・・・・ P 5

### 1. 「アーバンデザイン・サティフィケート」とは

都市は多様な人間の暮らしを支える場であり、各種の産業基盤を擁する経済的諸活動の中心地でもある。都市という限られた空間には市民の様々な活動を実現するための諸機能が集約されている。高度に発展した現代社会においては、都市に暮らす市民がより安全に、快適に、そして効率よく活動することを可能とするための空間形成を目指すことがますます重要なテーマとなっている。

新しい機能的な都市を創造するためには、現代社会が抱えている諸課題、例えば、少子高齢化問題、環境対応、交通・流通問題、災害・防災問題などへ対応することが重要である。またそれと同時に都市に生活している市民が活動空間への愛着やプライドをより強く持てることが理想である。市民がネットワークとして繋がることによって、より活性化した地域社会を実現することも重要な考察ポイントのひとつである。

このような多様な要求を満たす都市空間を創造するためには、建築・土木などを中心とするハード的側面からの検討だけではなく、都市の歴史を概観し伝統・文化をも考究するというソフト的側面も合わせて考慮する必要がある。このため本学で開講する「アーバンデザイン・プログラム」では、従来の枠組みとしての理工系の分野と人文・社会系の分野を融合させることにより、新しい都市を築くためのデザインを分野横断的に考察している。このことは「サステイナブルな地球社会を創造する」という現代社会の課題に対するひとつの提案でもある。

## 2. 対象および取得要件について

### (1) 対象

法政大学の全学部生

### (2) 取得要件

以下の①～④の要件を全て満たすこと。

①履修開始前に「アーバンデザインオンライン解説動画」を視聴すること。

②領域 A から 4 単位以上修得すること

③領域 B から 4 単位以上修得すること

④領域 A・領域 B の中から合計 12 単位以上を修得すること

※領域 A・B については「4. プログラム紹介」を参照すること。

### (3) 注意事項

修得した単位は、2019年度既修得単位から有効である。一度修得した単位は、卒業まで有効である。ただし、年度ごとに科目の変更があり得るため、毎年度科目一覧を確認すること。

## 3. アーバンデザインオンライン解説動画について

アーバンデザインオンライン解説動画では、アーバンデザインの概要について、および本プログラムの全体像を解説している。受講開始前に視聴することが望ましい。以下の URL もしくは QR コードから LMS (ラーニングマネジメントシステム) にアクセスし、動画を視聴すること。

URL : <https://lms.hosei.ac.jp/>

QR コード :



## 4. プログラム紹介

本プログラムは大別して 2 つの領域 A, B からなり、各領域には小領域として 5 つの科目群を置いている。各科目群における学習の方向性とサティフィケート取得のための履修要件を以下に示す。本サティフィケートを履修する学生は、自分が学びたい内容に合わせて科目を選択し、学んだことを体系の中に自ら位置づけていくことが求められる。

### 領域 A 「都市と空間」

この領域では、建築・土木などの空間的設計の側面から都市を築くために必要な諸事項について考察する。公害・環境問題や自然災害と都市防災などに関する基礎を学び、これらの諸問題に対応するための方法や政策を含めて学習する。これまでに展開されているデザイン例を参考にしながら都市空間を構築するための諸事項を学習する。

#### A-1 「都市デザイン」科目群

アーバンデザインの概念とその課題などについて建築・土木の領域面から考察する。その代表的事例に触れることにより、空間・景観解析などを含めた都市デザインの考え方について学習する。住宅設計やインフラ整備の例、再生可能エネルギーの導入や低環境負荷住宅の設計などに関連した国内・海外の事例などについても学習する。

#### A-2 「都市と環境」科目群

地域に生起する公害問題のみならず地球規模での環境問題について学習し、都市機能との関係を考察する。例えば、大気汚染、水質汚濁、悪臭、騒音などの各種公害問題や廃棄物・リサイクルの問題についても学習する。また有害物質とリスク、環境基準と環境アセスメントなども重要なテーマである。人と環境問題の関係性を環境倫理の分野から考察することも含め、都市における環境問題の実態と対応策を学習する。

#### A-3 「災害と防災」科目群

現代社会における災害に関する問題を学習し、都市における防災のあり方などその対策について検討する。自然環境のしくみを理解することも重要な学習内容である。ヒートアイランド現象、光化学スモッグ、温暖化、竜巻・突風、雷、地震、津波、台風・豪雨、火山噴火などの各種現象とそのメカニズムについて学習する。また、災害報道や市民参加による防災、地域防災計画など政策に関連する事項について考える。

## 領域B「都市と人間」

この領域では、都市と人間との関わりの観点から都市空間を眺め、新たな姿の都市を築くための政策などについて考察する。都市が築かれた歴史的背景や地域の文化的側面からデザインのあり方を考察することも重要な事項である。都市計画のための制度や都市空間のマネジメントに関する事項、さらには市民参加・協働の場としてのコミュニティ形成のための課題などについて学習する。

### B-1 「都市計画・まちづくり」科目群

都市開発のための諸制度や組織運営・マネジメントの考え方について考察する。都市計画と法・条例、土地区画整理事業と市街地再開発、景観法、まちづくり条例などの諸制度やユニバーサルデザイン、住宅政策、福祉政策などについて学習する。また集団と個人との関係を組織論の観点から理解することにより、都市空間のマネジメントなどについて考察する。

### B-2 「地域・文化」科目群

都市と人間との関係を通して空間デザインのあり方を考察するため、地域の歴史や文化という人文社会的側面に着目する。それと同時に都市景観の概念などを理解することも重要なテーマである。また現代コミュニティの持つ特徴と課題を学習することにより、都市空間と地域社会の関係を考察する。

プログラム構成表

領域	科目群	必要単位数	
領域A 「都市と空間」	A-1 「都市デザイン」	4 単位以上	12 単位以上
	A-2 「都市と環境」		
	A-3 「災害と防災」		
領域B 「都市と人間」	B-1 「都市計画・まちづくり」	4 単位以上	
	B-2 「地域・文化」		

※プログラム構成科目については「アーバンデザイン・サティフィケート科目構成表」を確認すること。

## 5. サティフィケート申請について

取得要件を満たした者は、申請期間内に以下の申請フォームから申請することによって、アーバンデザイン・サティフィケートを取得することができる。

### (1) 申請フォーム

URL : <https://forms.gle/tdmNLdf7B5kZovd57>

QR コード :



### (2) 申請期間

春学期：秋学期成績発表日～4月30日

秋学期：10月1日～10月31日

## 6. 問い合わせ

本プログラムに関する質問等は、以下に問い合わせること。

法政大学総長室付教学企画室

Tel : 03-3264-9931

Email : [kyogaku@hosei.ac.jp](mailto:kyogaku@hosei.ac.jp)

